

～郷土史つづり～

その73「聞き取り調査での出会い(後編)」

文責
郷土史マスター
川内つづり



Kさんとの偶然の出会いから、古老のお話が録音されているカセットテープをお借りすることが出来ました。早速テープを聴きました。古いテープの雑音から飛び出す、張りのあるKさんの若い声から始まりました1人1人にインタビューしながら進行するKさんの様子が伝わってきます。「舗装されていない当時の道は、下駄が泥にはまって大変だった」と話す女性、お酒が入って上機嫌の男性が歌う民謡の上手なこと！今では何うことが出来ない貴重な肉声の記録は、CDにコピーさせて頂き、どんぐり祭りでも公開しました。Kさんご夫妻には、その後もたくさんお話を聞く機会がありました。そして、出会いから3年後に「米俵の作り方」を教わることになったのです。使用する稲わらを道外から取り寄せて、Kさんの庭に運びました。奥さんと私はビニールシートの上で稲わらから枯葉を取り除く作業(すぐる)をして、ご主人に手渡し、ご主人が慣れた手つきで10本ほどのわら束を地面にトントンと揃えて編み機に乗せ、4か所ある2本の縦縄をぎゅっと交差させる。その上にわら束の穂先を逆側に乗せて縦縄で絞める、その繰り返しで120センチほどで編み終えます。1段目と最後の段を麻糸で結んで円筒状にし、胴体が完成です。それから「サン俵」という蓋を2つ作ります。ご主人が靴を脱いで十字に重ねたわらの上に乗って、少しずつ回りながら直径30センチほどの丸い「サン俵」を編んで作ってくれました。途中、前かがみの体勢に疲れたご主人と交代して、2つ目は私が挑戦しました。あつという間に米俵が完成しました。Kさんご夫妻が思い出しながら、そして懐かしみながら仲良く、楽しく作って下さった米俵でした。身についた知識と技術の素晴らしさを感じ、伝承の大切さを実感しました。皆さんに体験して頂ける機会をぜひ作りたいと思います。

公民館図書室 新着図書のご案内

開室日 毎週火～日曜日 9時～17時
☎ 早来:22-3224、追分:25-2565

新しい本がたくさん入りました！早来・追分どちらの公民館の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしています。

早来公民館

- 〈一般書〉もっと！魔法のてぬきおやつ(てぬキッチン)／最強脳「スマホ脳」ハンセン先生の特別授業(アンデシュ・ハンセン)／パラソルでパラシュート(一穂 ミチ)／李王家の縁談(林 真理子)／黄金旅程(馳 星周)
- 〈児童書〉オールカラーマンガでわかる！政治と選挙のしくみ(木村 草太)／親の期待に応えなくていい(鴻上 尚史)／きたきつねとはるのいのち(手島 圭三郎)／わたしのそばできいていて(リサ・バップ)／わたしパリにいったの(たかどの ほうこ)

追分公民館

- 〈一般書〉くらしのアナキズム(松村 圭一郎)／樹木たちの知られざる生活 森林管理官が聴いた森の声(ペーター・ヴォールレーベン)／いぬ大全304 小型犬から大型犬まで、現役獣医師が犬種別の悩みも解決！(藤井 康一)／小さい預言者(浮穴 みみ)／らんたん(柚木 麻子)
- 〈児童書〉ジェンナー(十常 アキ)／チバニアン誕生 方位磁針のN極が南をさす時代へ(岡田 誠)／セカイを科学せよ(安田 夏菜)／せんろはつづくにほんいっしゅう(鈴木 まもる)／さわってたのしいレリーフブック さかな(村山 純子)

今月の展示テーマ

『身を守る』

トンガで海底火山が大噴火したのは、記憶に新しいところです。昨年は小笠原で海底火山が噴火。大量の軽石が遠くは関東まで漂着し、漁業に影響を与えました。地震も頻発しています。東日本大震災・福島原発事故から11年。科学がどんなに発達しても自然の脅威には、無力だったことを思い知らされた大災害でした。人間の力を過信せず、学び備えて災害から身を守っていききたいものです。

◆ 読み聞かせ 3月日程 ◆	日 時	場 所
読み聞かせ ひまわり会	お休み	-
読み聞かせ ありんこ会	3月5日(土) 14時30分～	ふれあい交流館「みなくる」
ブックスタート読み聞かせボランティア 赤ずきん	3月23日(水) 11時00分～	おいわけ子ども園子育て支援センター